

区政会議で特にご意見を求めたい内容に対する委員からのご意見及び区役所の対応・考え方(令和6年度第1回)

番号	部会・全体会	担当課	ご意見を求める内容	参考資料と頁	委員からのご意見	区役所の対応・考え方
1	福祉部会	保健福祉(保健・子育て支援担当)	<p>2024年度～2026年度の港区地域福祉計画が完成しました。「基本目標1:気にかける・つながる・支え合う地域づくり」の「③「いきいきと健康で自分らしく暮らすための支援」として、「健康寿命の延伸」を掲げています。</p> <p>港区の健康寿命は24区中で下位にあり、また、特定健診の受診率も24区平均より低い状況となっています。より多くの方に特定健診を受診いただくために、どのような取組みが効果的でしょうか。</p>	<p>港区地域福祉計画 11ページ 29ページ 30ページ</p>	<p>①参加されない方々に対して、何故、参加されないかのアンケートを実施したことはあるのでしょうか？ また、その際に、どうしたら行こうかと思えるか等、アンケートもしくは他の何かの機会を確認することはできないでしょうか？ 回答率は低いでしょうか、何かヒントになるものが得られるのではないのでしょうか？</p> <p>②あまり良い方法ではないですが、許せる範囲で「健診を受けないこの様な悪い事態(体に支障が起こるサインやこれだけ困る(身体的、金銭的など)になる」という具体的な警告のお知らせはできないでしょうか？</p>	<p>①特定健診ではなくがん検診についてはありますが、毎年1月に実施している「区民アンケート」にて健診を受けていない理由について質問しています。直近の令和5年度結果では、「面倒だと感じている」「受診する時間がない」「受診する場所や手続きがわからない」という回答が上位3つでした。(調査対象:無作為抽出した18歳以上の区民2,000名、有効回答数547件)この結果も参考に、効果的な受診勧奨に取り組んでまいります。</p> <p>②ご指摘のように、人々の不安や心配をおおるいわゆる「不安マーケティング」は効果を発揮する場面もある一方、反感や嫌悪感につながることもある手法とされています。現在、福祉局において「特定健診受診率向上の手引き」の改訂作業中であり、下半期完成予定のこの新たな手引きを参考に、効果的な手法の導入を進めてまいります。</p>
2	安心安全まちづくり部会	協働まちづくり推進課(エリア開発推進)	<p>令和5年度第2回区政会議において議題としました「弁天町駅周辺まちづくりビジョン(案)」について、その後、パブリックコメントでいただいた意見を踏まえ、令和6年4月に策定いたしました。</p> <p>本ビジョンにおいては、6つのコンセプトを掲げ、区民・事業者・行政で協働して推進する様々な取組イメージを示しています。</p> <p>その中でも、特に区役所と区民との協働で取り組むことが効果的であると考えられます「多文化共生によるまちづくり」や「文化・産業を発展させる人の掘り起こし・育成」に係る取組イメージについて、有効だと思われる具体的な取組内容やアイデアなどがあれば、ご意見をいただければと存じます(もちろん、他の取組イメージについてのご意見でも構いません)。</p>	<p>「弁天町駅周辺まちづくりビジョン概要版」 【資料E-1】裏面 『7.取組イメージ』</p>	<p>「弁天町駅周辺まちづくりビジョン」 【市岡商業高校跡地の開発アイデアについて】 観光バスの待ち合わせハブ・ターミナルにしてはいかがでしょうか。大きなバスの駐車場はなかなかスペース的に難しいと思います。弁天町駅から近い場所で、数台バスが待機出来ると思います。時間調整に弁天町周辺に飲食店もあり便利だと思います。ここから、淡路島観光等、日交バスツアーや阪急トラピックス等に使ってもらう。ここから観光に行かれてしまいますが、人が集まれば港区の利便性の良さを知ってもらえると思います。</p> <p>多文化や外国人の増加の事が良く取り上げられているが、良い意味で「外国にルーツも持つ方でも暮らしやすい街づくり」を一緒にめざすという様に、一緒に参画してもらう様なミーティングはできないのでしょうか？</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>市岡商業高校跡地につきましては、弁天町駅周辺まちづくりビジョンにおいて、国際拠点ベイエリアとの連携強化や地域交流拠点の形成強化に向けて、民間事業者による活用をめざすこととしています。これまでに区民の皆さまからいただいた跡地の活用アイデアとしましては、「子どもたちが走り回れる空間」「津波避難施設や備蓄倉庫の充実」「保育所などの子育て支援施設」「開発効果を周囲に波及させる起爆剤となるような活用」などのご意見をいただいております。現在、それらの意見を踏まえて、民間事業者へのヒアリングなどを重ねながら跡地活用に向けた検討を進めているところです。いただきました観光バスの待ち合わせハブ・ターミナルとしての活用アイデアにつきましては、交通結節点である弁天町の機能をさらに高める案として有効であると存じますが、民間事業者による開発として成立するかは未知数のため、今後民間事業者へのヒアリングなどによりこのような活用の可能性があるか確認したいと存じます。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>現在、市民局ダイバーシティ推進室と連携し、昨年度より南市岡地域において、外国人住民と地域住民との相互理解や交流を進める「多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラム支援事業」をモデル実施しております。</p> <p>本プログラムにて、今年3月には、住民と外国にルーツを持つ方々が集まって、「みなとdeたぶんか」を開催し、簡単なゲームをしたり、世界のおやつを食べながら交流し、地域活動をされている方にも協力いただき、地域活動についての理解も深めていただきました。今年度も、外国にルーツを持つ方々と地域が継続的につながりを持つ交流イベントなどを実施する予定をしています。</p> <p>また、官学連携の一環で、ここ数年、外国人留学生の方々が取組んでいる、港区のまちづくりや防災をテーマにした研究に対して協力しており、今年度はその成果発表を、オープンな場で誰でも気軽に参加いただけるよう、港区民センター3階「みなとラウンジ」で開催するよう調整を進めております。</p> <p>このように、まずは、外国にルーツを持つ方々が地域活動などに気軽に参加できるような交流の場やまちづくりに関する意見交換ができるような場を増やすことにより相互理解を深め、外国にルーツを持つ方でも暮らしやすいまちづくりを推進してまいりたいと考えております。</p>